

2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ⑬

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

- 赤字の責任は、経営側が取るべきです。労働者側も現実を踏まえて、昨年比0.18ヶ月分要求を下げました。これは、人道的に共感します。それを逆にとる経営側のセンスに呆れます。「妥結しない」「0.8ヶ月分の追加支給要求」を断固支持します！
- まずは...よし！地方や職場の悔しい想いを東日本ユニオンは全体のものとし、労働組合として諦めない姿勢を全面に出して申し入れをしたと感じました。現実要求3.0ヶ月から回答2.2ヶ月だと落差が大きいし、敗北感を感じていたが、諦めないとする姿勢に、本当に満額回答を求めている仲間に対しても大きな励みになる！厳しい闘いになるのは承知しているが、0.8ヶ月分の追加支給をぜひとも勝ち取るために、地方や職場から風を巻き起こしたい！
- もっと現場の社員は「新型コロナウイルスとたたかっている」ことをアピールしていきたい。「コロナ手当」という形でも良いから、追加支給を勝ち取っていきたい！
- 英断！ありがたい！厳しい闘いなのは分かっているが、会社に労働組合として諦めずに闘う姿勢を見せることが重要だ！
- 低額回答だった。「東日本ユニオンも結局妥結するのか」と言われたくない！諦めない！
- ボーナスは生活給である！追加支給の申し入れ断固支持する！
- 追加支給の申し入れ！よくやってくれた！2.2ヶ月なんて納得できない！
- 労働組合の意義が問われている。納得できないのに妥結するとか、会社の言いなりではダメ。私も諦めず最後まで闘う！
- 会社は社員や家族の雇用・生活の補償なんて全く考えていない。満額支払い能力はありながら、出し渋る？出さない。世間体ばかり気にしているから、会社の基盤となる社員が見えていない！
- この回答では「社員の賃金は二の次だ」と言っているようなもの。交渉で言っていた「働きがいと賃金は両輪である」とは何だったのか？結局、会社は社員の想いをないがしろにしている。これでは働きがいもモチベーションも出ない。何より生活水準を下げざるを得ない。これでは不安が募るばかりだ！